



## &lt;展覧会 開催のお知らせ&gt;

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生、卒業生に発表の場を提供しております。

この企画は、日本画を志す若手作家の育成と共に、各地域の文化芸術の支援活動を通じてあいおいニッセイ同和損保の活動指針である「地域密着」を具体化する取組みです。

2023 年は、去年の 7 校から新たに 2 校の美術大学を加え、9 校の若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（2 月～8 月）となります。

今回は、2023 年 5 月 20 日(土)から「第 18 回大学日本画展 <九州産業大学>」を開催いたします。

## ■タイトル / 「とりどり」

～第 18 回大学日本画展 <九州産業大学>～

■会 期 / 2023 年 5 月 20 日（土）～6 月 4 日（日） 11:00～19:00 \*最終日 17:00 まで  
<月曜定休>【入場無料】

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

## ■参加作家名（ふりがな）

・阿部 慶樹（ あべ けいじゅ ）      ・田中 綾（ たなか あや ）  
・宮下 舞香（ みやした まいか ）      ・渡邊 千尋（ わたなべ ちひろ ）

## ■展覧会内容

このたび、九州産業大学芸術学部日本画の在学学生・卒業生 4 名による展覧会を開催させていただきます。

展覧会タイトルの「とりどり」には、「思い思い、それぞれがさまざまに違っていること」という意味があります。

私たちには日本画を学んでいるという共通点がありますが、色づかいやモチーフなど、作風が大きく異なります。そして作品に込める思いも、一括りにすることはできません。

4 人が思い思いに画面を見つめ、制作に励むなかでうまれた作品から受ける印象もまた、人それぞれであり、さまざまな感情が交錯する展示になると思います。

本展覧会にて、4 人とりどりの自由で幅広い日本画の表現を楽しんでいただけたら幸いです。

■主 催 /九州産業大学 芸術学部 絵画専攻日本画

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## &lt;ご連絡・お問い合わせ先&gt;

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・内城）

E-mail / [tsubaki@un-pel.com](mailto:tsubaki@un-pel.com)      <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780      FAX / 03-3548-7781

\* お問い合わせは E-mail にてお願いします

## 阿部 慶樹 (あべ けいじゅ)



九州産業大学芸術学部芸術表現学科絵画専攻日本画卒業

29 (twenty-nine) 29 という意味は 12 支と 12 星座そして中国の 5 神を合わせた数の意味です。宇宙をテーマとし、服に描かれている仏像の集合体は立体曼荼羅です。

4 年間の集大成をここで引き出し、最高の作品にしたいという想いを込めて制作しました。



「29 (twenty-nine)」 1620×1120mm

紙本彩色 2022 年

## 田中 綾 (たなか あや)



九州産業大学芸術学部芸術表現学科絵画専攻  
日本画 4 年在学中

主に日常生活の中での風景や出来事を着想し、絵画の形式に変換しています。特に日々の植物、虫、生活用品、風景を題材に描いており、現代の都市生活と自然の多様性、ライフスタイルを感じさせるよう描き出しています。画面のなかにはキャラクター的なモチーフが現れていますが、SNS や VTuber などの登場からキャラクターは日常生活に浸透しており、身の回りの日常の現象として他の題材と等価値に描いています。



「暮らし」 1620×1300mm

紙本彩色 2022 年

## 宮下 舞香 (みやした まいか)



九州産業大学芸術研究科博士前期課程 1 年在学中

自分自身を投影した他者の姿や、日常で見つけた美しいものを描いています。きっとそれは、自分という不安定な存在を客観視しながら受け入れ、憧れや希望を持ち続けるためなのだと思います。私にとって日常を描き残すことは、心の海でうつろいゆく感情の波と共生する唯一の方法なのです。



「窓辺にて」 530×410 (P10)

絹本彩色 2022 年

---

## 渡邊 千尋 (わたなべ ちひろ)



九州産業大学芸術学部芸術表現学科絵画専攻  
日本画 4 年在学中



「Night」 1303×1620mm

紙本彩色 2022 年

私は現在、記憶の不確かさや、情報の欠如についてをテーマに作品制作をしています。

そこで、カメラやデジタル加工などを使用し画像の解像度を下げたり複数の画像を組み合わせ、私の頭に時折浮かぶ、どこか見たことはあるが存在しない頭の中で作られた新しい一場面を再現しています。